

仲良くやっています

副会長職

本年4月1日より副会長として、実にいろいろな体験、経験をさせていただいております。

下の写真は、8月11日から14日まで、スリランカ最大の都市コロンボで開催された国際法曹組織LAWASIA（ローエイシア、正式名称The Law Association for Asia and the Pacific）の評議会に東弁代表として出席したときのものです。中央の方がローエイシアの会長で、その左側の方はかつてLAWASIAの会長を務めた小杉丈夫弁護士（当会会員）です。



評議会では、当会を代表し、当会の加盟を承認していただくべくスピーチをしてきました（満場一致で、当会の加盟は承認されました）。

日本からコロンボまでは直行便で片道約10時間、職員に指示し、機中泊を含む2泊4日の最短ツアーを組んでもらいました。コロンボでは任務だけを遂行し、余分な宿泊はせず、出張費（渡航費・宿泊費）は総額20万円程度に抑えました。会員のみなさんが納めた会費ですから、大切に使いました。

なお、来年は、東京でLAWASIAの大会が開催されることになっています。招致委員会の委員長は当会の山岸憲司会員（元日弁連会長）です。大会を大成功に導くべく当会には大きな期待が寄せられています。

さて、副会長の執務は、原則として、月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時までです。実際のところ、ときには午前8時から午後10時過ぎまで執務することもあります。そこで、自ら法廷に立つことはいうま

副会長 佐々木 広行 (48期)

主な担当業務

日弁連常務理事、選挙管理委員会、東弁・二弁合同図書館、国際委員会、若手会員総合支援センター、新進会員活動委員会、三会ハーグ協議会



でもなく、事務所に顔を出すこともままなりません。なかなか大変なものですが、後述するように、素晴らしい同僚に恵まれ、楽しく仕事をさせていただいております。

役員室の団楽

今年の副会長6人は仲が良く、役員室には団楽があります。

私は副会長の中では修習期（48期）でも実年齢でも一番年下です。末っ子の目から見ますと、兄姉はいずれも尊敬できる人たちです。

谷真人副会長は長男です。どの家庭でも長男は妹弟たちを上手にまとめないといけないのですが、谷副会長は5人の個性ある妹弟の総合調整役を完璧にこなしています。非の打ちどころのない長男です。

芹澤眞澄副会長は、朗らかな長女です。芹澤副会長を見ていると「こんな姉がいたらよかったなあ」と思います。長男同様、欠点らしい欠点はありません。

成田慎治副会長は次男。上と下の橋渡し役を上手にこなしています。普段から声の大きな方で、室外に響き渡るような大きな声はたまに訪れる沈鬱な気分を吹き飛ばしてくれます。頼もしい兄貴です。ちなみに、成田副会長の弟さんは私の学友です。

三男仲隆副会長とは、平成24年（ロンドン五輪の年）と一緒に当会の監事を務めました。奇しくも、リオ五輪が開催された本年、一緒に副会長になりました。仲副会長はとにかく優しい人です。お酒が入ると、兄姉に対しても巻き舌のべらんめえ調になりますが、それもまた愛嬌です。

四男鍛冶良明副会長は正義感の人です。不祥事関連の仕事はストレスの溜まるものですが、日々淡々とこなしています。また、非常に几帳面な方で、鍛冶副会長の机は、信じがたいほどに整理整頓されています。

このように、同僚の副会長はいずれも「幼少期にこんな兄、姉がいたら楽しかったらうなあ…」と思わせる素晴らしい人たちです。

そのような人たちと同僚になれてよかったと心から思いつつ、充実した日々を送っております。